

## Overland Storage社製テープライブラリ装置Neo2000 (LTO 3)-NetVaultの接続検証

検証目的： Overland Storage社製Neo2000 (LTO 3)について富士通製品サーバとの接続を行い、バックアップソフトウェア(NetVault)を使用し動作状況の確認を行う。

日時： 2005年10月13日 (木)～21日 (金)

場所： 富士通株式会社  
プラットフォームソリューションセンター  
世界貿易センタービル29F (Validation room4)

検証方法： サーバにNeo 2000 (LTO 3)をSCSI接続しNetVault 7.1.1 , 7.1.2で基本機能の動作確認を行う。

サーバ： PRIMERGY RX300S2 (WindowsServer2003、RedHatEnterpriseLinuxESv3、RedHatEnterpriseLinuxESv4 )  
SCSI :PG-130L  
PRIMEPOWER 250 (Solaris(TM)9 OS 9/05、Solaris(TM)10 OS 3/05 )  
SCSI :PW008SC3A

接続方法：



バックアップデータ構成 BackupData1¥test1～test6¥C1～C7 (C1～C6に1MBファイルが100個、C7のみ50個)  
BackupData2¥test1～test6¥C1～C7 (C1～C6に1MBファイルが100個、C7のみ50個)  
BackupData3¥test1～test6¥C1～C7 (C1～C6に1MBファイルが100個、C7のみ50個)  
3フォルダの合計が11.7GB程度 (サーバ内のディスクに作成)

結果： 次頁の結果シートをご覧ください。

富士通Platform Solution Center検証作業  
 NetVault 7.1.1 , 7.1.2によるOS別バックアップ動作検証

動作結果:	2005/10/13 (木)	2005/10/14 (金)	2005/10/17 (月)	2005/10/18 (火)	2005/10/21 (金)
利用サーバ(64bit)	PRIMERGY RX300S2	PRIMERGY RX300S2	PRIMERGY RX300S2	PRIMEPOWER250	PRIMEPOWER250
オペレーティングシステム	WindowsServer2003 (32bit) (SP1無し)	RedHat EnterpriseLinuxESv3(x86/32bit)	RedHat EnterpriseLinuxESv4 (EM64T/64bit)	Solaris9 9/05 (SPARC64V)	Solaris10 3/05 (SPARC64V)
NetVaultバージョン	NetVault7.1.1 (R2004OCT27)	NetVault7.1.2 (R2005JUN07)	NetVault7.1.2(R2005MAY18)	NetVault7.1.2(R2005MAY18)	NetVault7.1.2(R2005MAY18)
インベントリでのメディア認識	OK	OK	OK	OK	OK
新規メディアラベルの作成	OK	OK	OK	OK	OK
メディアの消去	OK	OK	OK	OK	OK
ライブラリのドアオープン、ドアクローズ	OK	OK	OK	OK	OK
スロットのグループ分け	OK	OK	OK	OK	OK
クリーニングスロット設定、クリーニング実行	OK (Generic)	OK(Generic)	OK(Generic)	OK (Generic)	OK(Generic)

バックアップ (テキストファイル約10GB容量)

メディア先頭からバックアップ	OK	OK	OK	OK	OK
追記バックアップ	OK	OK	OK	OK	OK
上書きバックアップ	OK	OK	OK	OK	OK
メディア先頭バックアップ ( ) のリストア	OK	OK	OK	OK	OK
追記バックアップ ( ) のリストア	OK	OK	OK	OK	OK
上書きバックアップ ( ) のリストア	OK	OK	OK	OK	OK

バックアップ/リストア動作 (10GBデータ)

フルバックアップ	OK	OK	OK	OK	OK
リストア	OK	OK	OK	OK	OK

LTO-2メディアの互換性 (10GBデータ)

フルバックアップ	OK	OK	OK	OK	OK
リストア	OK	OK	OK	OK	OK

結論:

PRIMERGY RX300S2、PRIMEPOWER 250でNetVaultでNeo 2000 (LTO3搭載)を接続した場合、基本動作に問題ないことが確認できました。

以上

## Overland Storage社製テープライブラリ装置Neo2000 (LTO3)-BackupExecの接続検証

検証目的： Overland Storage社製Neo2000 (LTO3)について富士通製品サーバとの接続を行い、バックアップソフトウェア(BackupExec)を使用し動作状況の確認を行う。

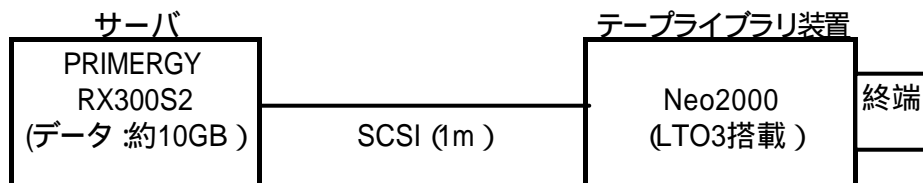
日時： 2005年10月12日 (水)

場所： 富士通株式会社  
Platform Solution Center  
世界貿易センタービル29F (Validation room4)

検証方法： PRIMERGY RX300S2にNeo 2000 (LTO3)をSCSI接続しBackupExec 10.0で基本機能の動作確認を行う。

サーバ： PRIMERGY RX300S2 (Windows Server 2003 )  
SCSI :PG-130L

接続方法：



バックアップデータ構成： BackupData1¥test1 ~ test6¥C1 ~ C7 (C1 ~ C6に 1MBファイルが100個、C7のみ50個 )  
BackupData2¥test1 ~ test6¥C1 ~ C7 (C1 ~ C6に 1MBファイルが100個、C7のみ50個 )  
BackupData3¥test1 ~ test6¥C1 ~ C7 (C1 ~ C6に 1MBファイルが100個、C7のみ50個 )  
3フォルダの合計が11.7GB程度 (サーバ内のディスクに作成)

結果： 次頁の結果シートをご覧ください。

富士通プラットフォームソリューションセンター検証作業

BackupExec 10.0によるバックアップ動作検証

動作結果：	2005/10/12 (水)
利用サーバ(64bit)	PRIMERGY RX300S2
オペレーティングシステム	WindowsServer2003 Standard (32bit) (SP1無し)
BackupExecバージョン	BackupExec 10.0 rev.5520
BackupExec適用パッチ	BE10.0 rev.5520 HotFix15
”	BE10.0 rev.5520 SP1
インベントリでのメディア認識	OK
新規メディアラベルの作成	OK
メディアの消去(クイック消去)	OK
ライブラリのロック、ロック解除	OK
スロットのパーティション設定	OK
クリーニングスロット設定、クリーニング実行	OK

バックアップ/リストア (テキストファイル約10GB容量)

メディア先頭からバックアップ	OK
追記バックアップ	OK
上書きバックアップ	OK
メディア先頭バックアップ( )のリストア	OK
追記バックアップ( )のリストア	OK
上書きバックアップ( )のリストア	OK

結果：

PRIMERGY RX300S2でBackupExe 10.0でNeo 2 0 0 0 (LTO3搭載)を接続した場合、基本動作に問題ないことが確認できました。

以上